

令和2年度(2020年度)

令和2年 7月 6日

学校関係者評価 報告書

一般財団法人 積善会
愛媛十全医療学院
学校関係者評価委員

一般財団法人積善会 愛媛十全医療学院 学校関係者評価委員は、令和元年度自己評価・外部委員評価に基づいて学校関係者評価を行いましたので、下記の通り報告いたします。

- 1 実施日：自己評価 令和2年 3月
外部評価 令和2年 6月

- 2 実施方法：令和2年度の委員会開催は新型コロナウイルスの感染拡大により全国規模の非常事態宣言、愛媛県の感染拡大状況と対応、並びに学院が併設する附属病院感染委員会の感染対策運営に従い、5月に開催を予定していた評価委員会を中止した。
代替として各外部委員と個別対応による外部評価を実施し、学校関係者評価報告書により承認を得た。
※ 4月17日～5月17日を休校とし、職員並びに法人関係者以外では日常のメンテナンス、業務に関わる業者以外の外部者の立ち入りや訪問をお断りした。

3 学校関係者外部評価委員

中村 徹男 愛媛県特別支援学校校長会 会長
伊藤 雄規 十全総合病院 リハビリテーション技師長
青木 進治 介護老人保健施設 希望の館 作業療法士

<内部委員>

松田芳郎 (愛媛十全医療学院 学院長)
田中信政 (愛媛十全医療学院 事務長)
藤原雅弘 (愛媛十全医療学院 理学療法学科長)
三澤一登 (愛媛十全医療学院 作業療法学科長)

4 学校関係者評価の内容と実施状況

1) 学校関係者評価の目的と方針

- ①関係業界・職能団体、高等学校、学生保護者、地域住民などの学校関係者が、本学院の自己評価の結果を評価することを通して、学校運営・教育活動を確認し、その客観性・透明性を高める。
②学校関係者評価により明確となった学校運営・教育活動における課題の改善を図る。

③学校関係者評価は、自己評価を基に、「専修学校における学校評価ガイドライン」及び本学院の学校評価実施規定に則り実施する。

2)評価方法と公表

学校関係者評価の実施にあたっては、令和元年度に実施した「自己点検評価」を学校関係者委員の皆様にご確認いただき、自己点検評価の各項目に対するご意見と評価をとりまとめた。

評価結果は、今後の本学院における教育活動や学生指導等、学校運営の改善に活かし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページへ公表いたします。

5 学校関係者評価・意見

評価項目に対する学校関係者の評価及び意見や提案(以下、評価等という)を報告します。

- A 十分に達成している。 [達成度が高い]
- B 達成している。 [概ね達成しており改善を要しない]
- C 達成がやや不十分である。 [若干の改善を要する]
- D 達成が不十分である。 [不適合がある、改善を要する]

6 学校関係者評価項目

- 項目1 教育理念・目標・方針
- 項目2 学校運営
- 項目3 教育活動
- 項目4 教育成果
- 項目5 学生支援
- 項目6 教育環境
- 項目7 学生募集と受け入れ
- 項目8 財務
- 項目9 法令等の遵守
- 項目10 社会貢献・地域貢献

以下、評価項目に従い、自己評価ならびに学校関係者委員による結果と総評(意見等)を報告いたします。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

中村 伊藤 青木

項目1 教育理念・目的・方針

点検項目		自己評価	外部委員評価		
①	学院の教育理念や目的、育成人材像は定められているか	A	A	A	A
②	学院の教育理念や目的、育成人材像が明文化され公表されているか	A	A	A	A
③	学科ごとの教育方針が明文化され公表されているか	A	A	A	A

◆ 自己点検評価の理由(他、課題や対応があれば)

校訓・校是を学院案内、学生便覧、学院ホームページへ明文化し、いつでもだれでも確認することができる。
教育指針(ポリシー)、学科ごとの教育方針を学院案内(冊子、)学院webページへ明文化し、いつでもだれでも確認することができる。
学生に対してオリエンテーションなどを通じて冊子媒体を使用し説明している。
保護者会総会・保護者役員会などで保護者に対し、先に挙げた冊子等を使用し、説明するなどしている。

項目2 学校運営

点検項目		自己評価	外部委員評価		
①	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	A	A	A	A
②	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されてるか、有効に機能しているか	A	A	A	A
③	国のガイドライン等で定める基準が遵守されているか	A	A	A	A
④	情報システム化による業務の効率化が図られているか	C	C	C	B

◆ 自己点検評価の理由

前年度の学生動向や官公庁の指針、規則改定などをふまえ、次年度計画を作成している。
運営会議、カリキュラムの検討・協議会等、学則に明文化され有効な機能を果たしている。
国の基準に従い、その都度学則の改定を実施し、第三者機関の審査規定も適宜クリアしている。
予算の問題や設備投資の優先順位もあり、全てが一度にクリアできていないが年計画により課題をクリアしている。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

中村 伊藤 青木

項目3 教育活動

点検項目		自己評価	外部委員評価		
①	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	A	A	A	A
②	教育目標に応じた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	A	A	A
③	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	A	A	A
④	関連分野の医療施設との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	A	A	A	A
⑤	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	A	A	A
⑥	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	A	A	A	A
⑦	成績評価・単位基準・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	A	A	A
⑧	人材育成、目標に向け講義を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	A	B	A	A
⑨	関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取り組みがおこなわれているか	A	A	A	A
⑩	教員の能力開発のための研修等が行われているか	B	B	B	A

◆ 自己点検評価の理由

校是として建学の精神である「誠の医療」を開学から40年継承しつつ、急速な時代の変化に対応すべく、柔軟な教育環境作りをしている。超高齢社会に伴う医療現場の動向に即した臨床教育、実践教育を推進し、他職種連携がさらに重要となる中で、理学療法士・作業療法士の真の専門性を確実に養う教育・養成に務めている。指定規則に定める基準を遵守し、3年間の学業修得に必要な教育課程において、基礎、専門基礎、専門分野それぞれに秀でた人材、経験豊富な人材を専任教員並びに付属病院のPT・OTを非常勤講師として配置し、シラバスに従って講義や実習を行っている。また、学内のFD委員会と連携し、各教科のコアカリキュラムについて意見を交換するなど次年度以降の更なる教育向上に努め、年に1回は大学教授を招きFD研修を行い、教員の授業内容・方法を改善し向上させるための組織的取り組みも行っている。

項目4 教育成果

点検項目		自己評価	外部委員評価		
①	資格取得率の向上、維持が図られているか	A	A	A	A
②	就職率の向上、維持が図られているか	A	A	A	A
③	退学率の低減が図られているか	B	B	A	B
④	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	B	B	B	B

◆ 自己点検評価の理由

両学科100%合格を目標に、国家試験対策講義、業者模試、学科別特別講義、ゼミ形式による指導、個別指導など多様な対策でアプローチしている。
 平成30年度 国家試験合格率 PT学科:100%、OT学科:70%、就職率:PTOT学科とも100%
 令和元年度 国家試験合格率 PT学科:100%、OT学科:100%、就職率:PTOT学科とも100%
 退学率低減のために、専門カウンセラーによる完全にプライベートが守られた、学生相談室を設置し進学・進路相談などを行い学生をサポートしている。
 在校生には学業に支障がない範囲で、積極的なボランティア活動を行うようサポートしている。
 卒業生の動向については同窓会を通して確認している。

項目5 学生支援

点検項目		自己評価	学校関係者評価		
①	就職に関する体制は整備されているか	A	A	A	A
②	学生相談に関する体制は整備されているか	A	A	A	A
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	C	C	C	C
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	A	A	A	A
⑤	課外活動に対する支援体制は整備されているか	C	C	B	C
⑥	学生の生活環境への支援は行われているか	C	C	B	C
⑦	保護者と適切に連携しているか	B	B	B	B
⑧	卒業生への支援体制はあるか	A	B	A	A

◆ 自己点検評価の理由

①求人閲覧室を整備し学生が求人票を確認しやすくしている。学生個別に対応し、履歴書作成を含め就職活動への支援を行っている。
 ②複数の担任によるよりきめ細かい学生指導、専門カウンセラーによる相談室を設置している。
 ③成績優秀者への特待制度による経済支援を行っている。日本育英会などの学費支援の案内及びサポートを行っている。
 ④全学生、毎年4月に附属病院で健康診断を行っている。毎日の検温と体調不良者を担任がチェックしている。
 ⑦⑤年に一回、保護者懇談会を開催し保護者と意見交換を行っている。また担任が適宜保護者へメールや電話で連絡している。
 ⑧⑥卒業生に対し同窓会や県士会とも連携し様々な分野の勉強会を開催している。

項目6 教育環境

点検項目		自己評価	学校関係者評価		
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	B	B	B	B
②	学外の実習施設について十分な教育体制・生活環境を整備しているか	A	A	A	A
③	防災に対する体制は整備されているか	A	B	A	A
④	図書など教育上必要な資料が系統的に整備されているか	B	B	B	B

◆ 自己点検評価の理由

指定規則、ガイドラインなどで定める基準が整備されている。教育上必要な機器、教材、図書それぞれ使用期間、改定内容など見直しを行い、年間購入が必要な備品。老朽化・永年劣化が著しい備品、内容の大幅な改訂など状況に応じて、機器・備品・模型標本を整備している。

天災などの想定外な事象が発生し、学内自体の安全性が損なわれる災害や事件・事故に備えるため、国の危機管理におけるガイドラインを基準に学内の危機管理マニュアルを見直し、防犯面・災害面ともに安全・安心な教育環境の維持・確保に努め、関係機関や関連業者との連携を図っている。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

中村 伊藤 青木

項目7 学生募集と受け入れ

点検項目		自己評価	学校関係者評価		
①	学生募集活動は適正に行われているか	A	B	A	A
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	A	B	A	A
③	学納金は妥当なものとなっているか	B	B	B	B

◆ 自己点検評価の理由

広報室を設置し、室長を中心に学校訪問など積極的に行い、学内状況・教育成果などについて説明している。
 入学者の構成選抜実施と入学定員が遵守されている。
 入学者選抜要綱が整備され、公表されている

項目8 財務

点検項目		自己評価	学校関係者評価		
①	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	A	A	A
②	財務について会計監査が適正に行われているか	A	A	A	A
③	財務情報公開の体制整備はできているか	A	A	A	A

◆ 自己点検評価の理由

年度末、年度初にて事業の反省と計画の報告書を作成し、理事会・評議委員会を通じ承認を得ている。

項目9 法令等の遵守

点検項目		自己評価	学校関係者評価		
①	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	A	A	A
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A	A	A	A
③	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	A	A	A	A
④	自己点検・自己評価の公開を行っているか	A	A	A	A

◆ 自己点検評価の理由

①毎年所管機関へ現状を報告している。重要事項については学院会議により決定している。
 ②個人情報保護規程を設け、対応している。
 ③第三者機関(リハビリテーション教育評価機構・世界作業療法士連盟[WFOT]教育評価基準)により定期的な評価を受け、その際に自己点検をし問題点について改善している。
 ④ホームページに公開している。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

中村 伊藤 青木

項目10 社会貢献・地域貢献 参照:学院ホームページ

点検項目		自己評価	学校関係者評価		
①	自治体事業への協力	A	A	A	A
②	地域住民への貢献、公開講座等を実施しているか	A	A	A	A
③	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	A	A	A	A

◆ 自己点検評価の理由

各自治体からの要請に応じ各種委員会へ員として職員の派遣等に対応している。

ボランティア活動

1. 愛媛県障がい者スポーツ大会へのサポート 2. 傷害予防のための地元中学校へストレッチ指導
 3. 地元、福祉施設や青年団主催の行事イベントに対する介護・補助ボランティア活動 4. 地元河川の清掃活動などの実施
 できるだけ多くの要請に応えるべく地方自治体、法人、団体、施設など協力している。また、ボランティア活動を行っている。
 ボランティア活動は、学生の学業に支障のない時間帯や曜日になるため、学生の休日・休息日や自主勉強、健康やストレスなども考慮し、学科・学年別・有志など無理のない範囲で行えるよう学院としてサポートしている。

◆ 学校関係者評価 総評(理由・ご意見等)

<中村委員>

近年、理学療法学科・作業療法学科を設置する養成校は4年制課程が増えている中であって、貴学は3年制課程でも知識・技術両面で優秀な学生を育成し、永年に渡って医療現場に多大な貢献をされており、教育実践の有効性や社会への信頼を示されています。
 附属病院が隣接されていることで、臨床に即した実践的教育を行い、学生からの授業評価を定期的実施するなど、教育内容に工夫され、それが国家試験合格率の高い水準を維持していることにつながっていると思われます。
 一方、作業療法学科においては、大幅な定員割れとなっていることから、項目7についてはA評価に至らず、学生確保の努力が必要であると感じました。同様に、項目5については自己評価も低くなっており、学生への支援の方策がさらに具体的に整備されると定員充足に向かうとも思われます。

<伊藤委員>

全般概ね自己評価に対峙して達成できていると思います。
 現代の情報社会の多様性と変貌に柔軟に発展させながら業務効率化の向上を図る必要性は、貴学院に限らずの命題と考えています。
 授業・実習をはじめ生活サポートなど増々の対応が必要となることでしょう。学生の中途退学は、厳格な選考の上でも、方向性の転換は必須であり、カウンセラー設置、教員職員による現状のサポート体制で中退率5%であれば十分と考えA評価としました。
 生活環境支援、課外活動支援も同様に、昨今の絶対的プライバシー重視の風潮では現対応で達成しているとしてB評価としました。
 少子化加速、学生獲得競争により、学生確保に苦慮するところと存じますが、是非、経営安定、地域医療への貢献のため、優秀な人材育成をよろしく願います。

<青木委員>

学校運営や教育環境では、予算の問題や設備投資の問題など様々な要因や兼ね合いがあるかと思えます。そのような中で大変かと思いますが、これら評価項目は学生支援にも関係してくる内容だけに、今後評価の改善に繋がればと感じました。同様に学生支援の項目も同様に感じております。自己点検評価の理由、学院webサイトを確認しながら評価を行いました。細やかな対応が行われていることが伝わりました。